

## 産経新聞 2021年3月11日 「談話室」への投稿掲載

(令和2年度入学) 高校1年(六か年コース) D組 石川 <sup>たいと</sup>大度 君

新型コロナウイルス感染予防のため、いつもマスクを着けています。

ある日、電車に乗っていると、目の席に座っていたおじさんがいきなり言いました。

「マスクを反対に着けているよ。隙間ができるからすぐに直しなさい」

すぐにマスクの上下を逆に着け直しました。数分後、おじさんの横に座っていた女性が私を見て、クスッと笑ったのが分かりました。

不思議に思いながら学校へ。校内で会った友人から「お前、マスクを反対に着けているよ」と、笑いながら言われたのです。

すべてを理解しました。最初からマスクを正しく着けていたのに、おじさんの間違った忠告によって、女性に笑われたのだと。

感染予防に緊張感を持つのは大切です。おじさんも私のために言ってくれたこと。誰も責められない、恥ずかしい体験でした。